

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみらい		
○保護者評価実施期間	令和6年 2月 1日		～ 令和6年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日		～ 令和7年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のプログラムが固定化されないようにしている。	外出、実験、料理、手作業など多様なプログラムを取り入れ、利用児童の興味の幅を広げる工夫を行っている。	児童の成長や変化に伴い、今後も工夫が必要。また、児童およびご家族の意向も取り入れていけるようにしたい。
2	保護者との交流や他事業所との交流、親子参加行事などを積極的に取り入れている。	児童の成長の過程と一緒に見届けたいと考えており、出来るだけ身近な存在で寄り添うことができるように心掛けている。年末には親子行事を取り入れ1年の感謝をお伝えしている。	企画・立案については、かなりの期間を要するため、スタッフが協力できる体制をより強化する必要がある。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一貫性のある支援が出来ないことがある。	定員に対して2倍以上のご登録があり、1名あたりの利用の頻度が少ない為、継続的な支援が出来ないことがある。	日々完結できるような支援目標の立案と、制度内容をしっかりと発信していくことが必要。
2	ハード面におけるバリアフリー化ができていない。	入口に数十段の階段があるため、出来る限りの配慮は行うが限界がある。	見学時やお問い合わせ時には必ずお伝えする。また、スタッフの体制を検討し、より安全に利用していただける環境を整える。
3			